中野労基だより

2023年（令和5年）1月（第131号）

発行所
一般社団法人中野労働基準協会
中野市大字中野 1863 - 1
TEL　0269 - 22 - 2255
編集兼発行人　山 田　雄 一

令和4年度 年末年始無災害運動

実施期間　１２月１日から１月１５日

標語　待ってます　元気なあなた　明るく迎える年末年始

新年あけましておめでとうございます

年頭のあいさつ

一般社団法人 中野労働基準協会会長 半谷雅典
（㈱前田鉄工所 代表取締役社長）

新年、明けましておめでとうございます。

会員事業所の皆様におかれましては、お健やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年も数年前から続く新型コロナウイルス感染防止策が継続され、協会行事である「各種イベントや各種講習会」は、人数を抑制しながら可能な範囲で実施することができ、新たな年を迎えることができました。これも一重に会員事業所、中野労働基準監督署等の皆様からのご支援の賜物と深く感謝しております。

さて、昨年は「第１３次労働災害防止推進計画」が最終年でありましたが、９月から相次いで死亡災害が多発し働く方の尊い命が失われ、目標達成に至っておりません。これらは基本的な安全措置を怠ったものと考えられ、もう一度、基本的安全措置の徹底と労働災害防止や健康確保対策のため更なる安全衛生意識の高揚が必要であると考えております。

本年は、「第１４次労働災害防止推進計画」の初年度を迎えますが、各事業所が労働災害を減らし、安全で安心して働くことの出来る環境づくりにお役に立てるよう、当協会の目的である「会員企業の労務管理の改善、労働災害の防止及び勤労者の福祉の増進、地域社会・地域産業の発展」に努め、諸事業を進めてまいりますので、一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、会員事業所の皆様にとって、この一年が新たな発展と飛躍の年でありますようお祈り申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

目　次

年頭のあいさつ（半谷　会長）	1	中野労働基準監督署からのお知らせ	3
年頭のあいさつ（中野監督署長）	2	「冬季における転倒災害を防ぎましょう」	

（一社）中野労働基準協会ホームページ　https：//www.n-rouki.or.jp

年頭のご挨拶　中野労働基準監督署 署長 西尾裕一朗

新年、明けましておめでとうございます。一般社団法人中野労働基準協会の会員事業場の皆様におかれましては、旧年中も中野労働基準監督署の業務運営に対し、格別のご理解、ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

昨年 11 月に始まりましたサッカーワールドカップでは、グループステージでの日本チームの２度のジャイアントキリング、決勝トーナメントでは念願のベスト８まであと一歩等大いに沸きました。新型コロナ等の世情から何かと暗鬱とした社会に、久しぶりの明るいニュースだったと存じます。今年もこのような明るい事柄が続くことを切望するところです。

私ども労働基準行政では、今年 2023 年は第 14 次労働災害防止推進計画のスタート年となります。11 月に労働政策審議会へ示された素案段階ではありますが、若干ご紹介します。

労働災害を少しでも減らし、労働者が安全で健康に働くことができる職場環境の実現に向け計画が目指す社会では、全ての関係者がそれぞれの責任を認識し、次の点を踏まえて真摯に取り組むことが必要とされています。

1. 安全衛生対策はウィズ・ポストコロナを見据え、DX を積極的に活用し、就業形態の変化、労使ニーズや価値観の多様化に対応するものとすること。
2. 「費用としての人件費から、資産としての人的投資」への変革が掲げられるなど、労働者の安全衛生対策が経営戦略の観点からも重要性を増し、加えて、人材確保の観点からもプラスになることが知られ始める中、これに積極的に取り組む事業者が社会的に評価される環境を醸成すること。
3. 事業場の規模、雇用形態や年齢にかかわらず、どのような働き方においても、「ウェルビーイング」（※）の確保を前提として、多様な形態で働く一人一人が潜在力を十分に発揮できる社会を実現すること。

（※）SDGｓ（持続可能な開発目標）３　あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

そして具体的な取り組みでは、転倒等の行動災害防止や高年齢労働者対策の強化、災害情報の分析・効果的な周知なども掲げられています。

さて、このような大きな節目を前にしての労働災害の現状ですが、当署管内、令和４年 11 月末の速報値で、死亡者が２人（前年比１人増）、休業４日以上の死傷者が 199 人（前年比９人、4.7％増）となりました。

死亡労働災害は令和３年３月以来の発生となりましたが 10 月、11 月と続けて発生しました。また、出張作業中や事業主の被災ということで統計数値には反映されていませんが、９月末以降、他にも３人の方が管内の産業活動の場で亡くなられ、これらもきっかけとなり長野県内に死亡災害緊急警報を発令させていただくこととともなりました。

また、休業４日以上の死傷者数も直近 10 年で最多を記録する中、今シーズンも転倒等冬季労働災害の発生リスクが高くなる時期を迎えております。

中野労働基準監督署では、誰もが安心して働ける信州のために、「労災による死亡者を、悲しみをゼロに」を合言葉として労働災害防止を始め、働き方改革の前提とも言える労働条件の確保・改善や長時間労働の是正、セイフティーネットである労災保険の適正・迅速な給付等の労働基準行政の各種行政課題に

鋭意取り組んでまいりますので、引き続きご理解・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、世界的なパンデミックを経て、社会情勢はめまぐるしく変化しておりますが、日本国内、停滞を続けた時代からの脱却に向け、絶好の機会との声も聞かれ、今年の干支、癸卯のイメージにも重なるところです。皆様にとりまして本年が新たな成長と発展に向かう良い年となりますことをご祈念申し上げまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

中野労働基準監督署からのお知らせ　問合せ電話：０２６９－２２－２１０５

冬季における転倒災害を防ぎましょう！

～転ばぬ先の「靴選び」と「凍結防止」を～

長野労働局・各労働基準監督署

これから本格的な厳しい冬が訪れます。

例年、冬季には、凍結・積雪・寒冷等を原因とする転倒災害が多発する傾向にあります。あらかじめ具体的な対策を講じて、転倒災害を未然に防止しましょう。

～具体的対策～

1. 本格的な降雪・路面凍結前に、冬季における転倒災害防止対策の準備期間を設定し、裏のチェックリストを活用して職場を点検、改善しましょう。
2. 屋外通路や駐車場における除雪、融雪剤の散布により、安全通路を確保しましょう。また、凍結路面等が見えにくい場所については、夜間の照明の照度を上げる等の対策を講じましょう。
3. 事務所出入口へのヒートマット（例１）や、凍結のおそれのある屋内の通路、作業場への温風機の設置等により、通路の凍結等を未然に防ぎましょう。
4. 転倒危険場所を「見える化」し、危険マップ、ステッカー（例２）の作成・掲示と従業員への教育を通じて、注意喚起を図りましょう。
5. 事務所への入室時における靴裏の雪・水分の除去を徹底しましょう。
6. 「ながら歩き」や走っての移動等の不安全行動を禁止し、作業場所や内容に応じて、滑りにくい靴等の着用を勧奨しましょう。
7. 降雪、気温に関する気象情報を把握し、注意喚起するとともに、状況に応じて、出張・作業計画等の見直しを検討しましょう。
8. 特に高年齢労働者については、個々人の身体機能に配慮して作業内容の調整を図るとともに、作業開始前に、準備運動やストレッチ体操を行い、体を十分にほぐしてから作業に着手できるようにしましょう。

（参考）高年齢労働者の安全衛生対策について（エイジフレンドリーガイドラインなどを掲載）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/newpage_00007.html

（例１）事務所出入口のヒートマットの設置例

（令和4年12月）

（例２）転倒危険場所の見える化ステッカー

職場のあんぜんサイトからダウンロードできます

職場のあんぜんサイト　ステッカー　検索

あなたの職場は大丈夫？

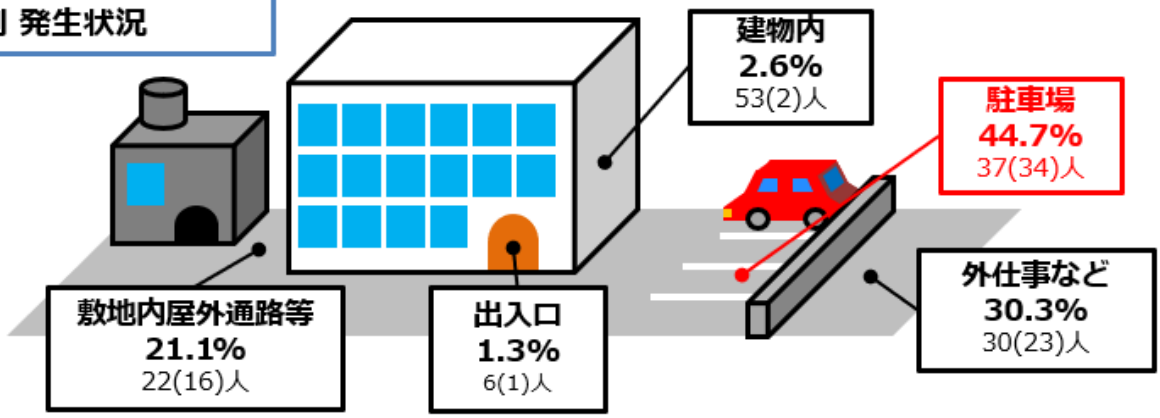
凍結等による転倒のリスクをチェックしてみましょう

	チェック項目	
1	積雪、凍結時に転倒のおそれのある場所は、事業場内で認識していますか	□
2	除雪用具、融雪剤、転倒防止用マットを準備していますか	□
3	段差のある箇所や滑りやすい場所などを、転倒危険場所として「見える化」していますか	□
4	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	□
5	「ながら歩き」や走っての移動、ポケットに手を入れたまま歩くことなどを禁止していますか	□
6	屋外通路や駐車場等における転倒防止のため、滑りにくい靴や手袋の着用を推奨していますか	□
7	降雪、凍結前に労働者に対し、転倒を予防するための教育・指導等を実施していますか	□
8	降雪、気温に関する気象情報を把握し、注意喚起を行うための体制を確保していますか	□

・**あんぜんプロジェクトの「見える」安全活動コンクールの応募作品・優良事例には、転倒災害防止対策に参考となる事例が掲載されています。ぜひ、活用しましょう！**
https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/sakuall.html

・**職場のあんぜんサイトに「STOP！転倒災害プロジェクト」に関する資料等が掲載されていますので、併せて活用しましょう！**
https://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/tentou1501.html

冬季における転倒災害 場所別 発生状況



※人数の（　）内は、冬季特有のもの（例：凍結に起因等）であり、内数。割合（%）は、冬季特有のもの76人に占める割合。
データ出所：労働者死傷病報告による（休業4日以上）。平成31年1月～2月の長野県内で発生した転倒災害（確定値）149人中、場所不明1人を除いた148人（うち冬季特有のものは76人）を特別集計